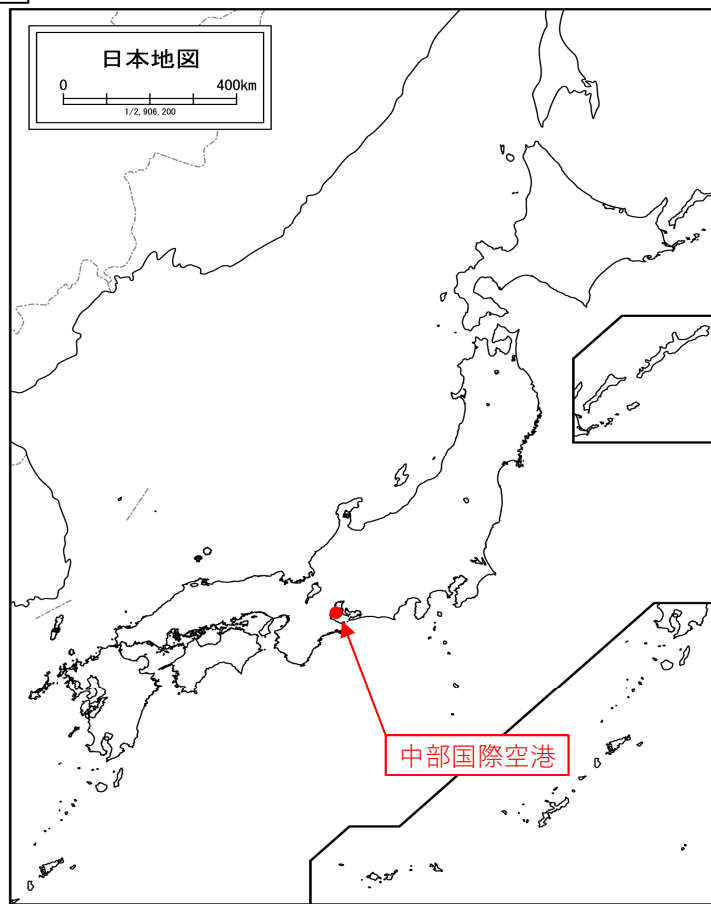
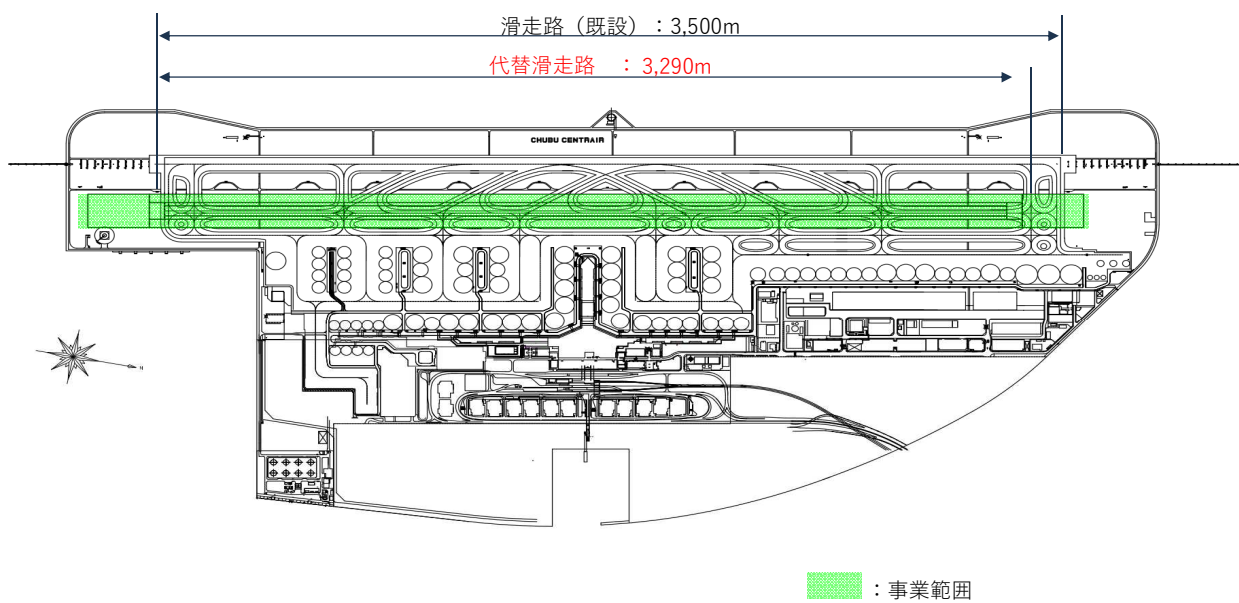


事業名 (箇所名)	中部国際空港代替滑走路事業			担当課	航空局航空ネットワーク部 近畿圏・中部圏空港課			事業 主体	中部国際空港株式会社					
				担当課長名	太田 大吾									
実施箇所	愛知県常滑市							評価 年度	令和6年度					
該当基準	社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業													
主な事業の 諸元	中部国際空港の現滑走路の大規模補修時においても継続的な空港運用を可能とすること及び完全24時間運用を実現すること等を目的として、3,290mの代替滑走路を整備する。													
事業期間	事業採択	令和6年度		完了		令和9年度								
総事業費(億円)	226億円(中部国際空港(株)事業:221億円、国事業(航空保安関連施設、気象施設):5億円)			残事業費(億円)			216億円(中部国際空港(株)事業:211億円、国事業(航空保安関連施設、気象施設):5億円)							
目的・必要性	現滑走路は供用後20年が経過しており、滑走路のアスファルト材料劣化度診断をしたところ、複数箇所でも舗装表層の劣化が見られた。「ひび割れ」の発生・進行に伴い、メンテナンス頻度が増加し、また、大規模補修として、舗装面を全面的に切削し再舗装する必要がある。大規模補修時には、深夜時間帯に滑走路を約2年間閉鎖しなければならない状況となっている。 中部国際空港は、定期メンテナンスを実施するため、深夜の一部時間帯に滑走路を閉鎖している。定期メンテナンスは、2019年冬ダイヤ(ピーク時)では週11時間確保しているところ、メンテナンス頻度が増加した際や、大規模補修の際には、時間の確保が難しい状況である。また、これに伴い深夜時間帯における更なる増便等への対応は困難な状況となっている。 以上から、中部国際空港の現滑走路の大規模補修時においても継続的な空港運用を可能とすること及び完全24時間運用を実現すること等を目的として、代替滑走路を整備するものである。													
便益の主な根拠	【便益の内訳】 利用者便益(旅行・輸送時間短縮・費用低減効果): 244億円 供給者便益(着陸料収入等): 144億円 残存価値: 46億円 【主な根拠】 対象貨物量: 78,520トン/年 対象旅客数: 34,840人/年 【費用の内訳】 建設費: 203億円 改良・再投資費: 60億円													
事業全体の投資効率性	基準年度		令和6年度											
	B:総便益(億円)		434		C:総費用(億円)		263		全体B/C	1.7	B-C	171	EIRR(%)	7.4
残事業の投資効率性	B:総便益(億円)		434		C:総費用(億円)		260		継続B/C	1.7				
感度分析	需 要 (−10% ∼ +10%)		事業全体のB/C		1.5 ∼ 1.8		残事業のB/C		1.5 ∼ 1.8					
	建設費 (+10% ∼ −10%)		1.5 ∼ 1.8		1.5 ∼ 1.9		1.5 ∼ 1.9							
	建設期間 (+10% ∼ −10%)		1.6 ∼ 1.7		1.6 ∼ 1.7		1.6 ∼ 1.7							
事業の効果等	【便益に計上した効果】 ・貨物に関する輸送時間の短縮及び輸送費用の低減 ・旅客に関する旅行時間の短縮及び旅行費用の低減 ・空港管理者の収益増加(着陸料収入等)													
	【地域経済への貢献】 ・代替滑走路整備による効果として、航空便の撤退回避により維持される貨物取扱量78.5千トン/年、3,328便/年を基に計測したところ、中部3県において156億円/年の経済波及効果が期待される。 ・直接効果においては、主に貨物サービス業、航空機サービス業関連、一次波及効果においては、運輸、金融・保険、石油・石炭製品関連等、二次波及効果においては、建設、商業、情報通信、一般機械関連等の産業・業種に及ぶと考えられる。また、これら産業の調達等により広範囲な効果があると考えられる。													
	【災害時等におけるバックアップ機能の強化】 ・首都圏を始めとする空港等において不測の事態が起きた場合に、中部国際空港にて航空機の受入を多数行っている。 ・仮に、首都圏や関西圏において大規模災害が発生し、成田や東京(羽田)国際空港や関西国際空港といった国際拠点空港の運用に支障が生じた場合、日本の中心に位置する中部国際空港は、首都圏・関西圏とのアクセスにも優れていることから、両圏域に所在する空港の代替機能の中心的な役割を担うことが想定される。 ・代替滑走路が整備されることで、メンテナンス作業や大規模補修、または不測の事態により1本の滑走路が閉鎖した場合、もう一方の滑走路で航空機の発着が可能となるため、ダイバート等のより確実な受入が期待できる。													
	【CO2排出量の削減】 ・代替滑走路が整備されない場合、大規模補修時、中部国際空港の航空貨物の一部は他空港へ陸上輸送される。 ・代替滑走路が整備されることで他空港へ輸送の必要がなくなり、航空貨物の陸上輸送におけるCO2排出量が削減される。													
	【完全24時間運用の実現】 ・代替滑走路が整備されることで、メンテナンス作業に影響されず、完全24時間運用が実現する。 ・完全24時間運用により、貨物・旅客問わず更なる航空需要に柔軟に対応することが可能となる。													
	【不測の事態による滑走路閉鎖リスクの回避】 ・航空機が何らかのトラブルにより滑走路上で停止した場合や、落雷等により滑走路に何らかの不具合が発生した場合には、復旧までの間、滑走路は閉鎖することになる。 ・代替滑走路が整備されることで、航空機が何らかのトラブルで滑走路上で停止した場合等においても、もう一方の滑走路で航空機の発着が可能となり、安定的な輸送機能を確保できる。													
社会経済情勢等の変化	【人件費・建設資材・工事費の高騰】 ・建設業就業者数の年々減少及び高齢化の進行により労務単価が上昇。特に足元の2024年は2023年比で6.2%上昇した。 ・土木工事の主たる建設資材価格は2020年代に急騰。土木部門の建設資材物価指数は2024年11月に2023年1月比で10.6%上昇した。 ・労務費や材料費を含む公共事業工事原価や、一般管理費も含む建設工事費デフレーターは上昇傾向であり、2024年7-9月期に2023年1-3月期比で6.7〜7.0%上昇した。 【航空需要】 ・コロナ禍において一時的な航空需要の不振があったものの、世界的な航空需要は依然として伸びている。日本においては、特にインバウンド旅客の回復が顕著。													
主な事業の進捗状況	令和6年度に設計を実施。令和7年度から工事着手予定。													
主な事業の見込み	・令和9年度中の供用開始を目指し事業を推進する。 ・本事業はこれまで、現地調査、実施設計、工事契約手続き等を着実に実施してきたことから、今後も着実に事業が進捗する見込み。													
コスト削減や代替案立案等の可能性	・撤去工事にて発生する廃材を砕石として再利用することにより工事費を削減。また、事前検討の深度化により実施設計費を削減した。 ・今後の本格工事にあたり、工法の工夫等によってコスト削減にもなお一層努める。													
対応方針	継続													
対応方針理由	本事業は、中部国際空港の現滑走路の大規模補修時においても継続的な運用を可能とすること及び完全24時間運用を実現するために必要な事業であり、事業費の増加を踏まえても経済効果が十分に見込まれることに加え、地域経済への貢献、災害時等におけるバックアップ機能の強化等に貢献するものとして、事業を継続することが妥当である。													
その他	＜第三者委員会の意見・反映内容＞ 対応方針(原案)に対して審議を行った結果、「事業を継続」で了承された。													
	＜都道府県・政令市の意見・反映内容＞ ・事業費の増額は、人件費・資材費高騰の影響や工事の実施方法・安全対策等について精査した結果やむを得ないものと認められることから、事業を継続することについて異存ない。 ・今後の事業の進捗にあたっては、安全対策や労働環境への十分な配慮をしつつ、工程管理及びコスト管理を適切に行うとともに、施工方法の工夫などによりさらなる費用抑制に努めていただきたい。 引き続き、県・空港周辺市町はじめ地域の理解と協力を得られるよう、丁寧な説明及び十分な配慮を行った上で、2027年度中の代替滑走路の供用に向け、着実に事業を推進していただきたい。													

位置図



概要図



中部国際空港代替滑走路事業
費用便益の概要

主な便益

項目	区分	単位当りの便益			便益（代表年）	
			単位	備考		単位
利用者便益	貨物の輸送時間短縮・費用低減効果	147.7	円／分／トン	計測方法については、「空港整備事業の費用対効果分析マニュアル Ver.4」を参照	11.89	億円/年
	旅客の旅行時間短縮・費用低減効果	4,898	円／時	〃	5.17	億円/年
供給者便益	着陸等収入・ 航行援助施設利用料等	—	—	—	8.33	億円/年

注１：便益の算出にあたっては、「空港整備事業の費用対効果分析マニュアルVer.4」（平成18年3月）を参照
注２：便益（代表年）については最大便益を得る年度の数値（割引前）を表示している。
注３：利用者便益における原単位は、輸出入別・旅行目的別原単位の加重平均値を表示している。

主な費用

費用項目	土木工事費（滑走路等）、その他施設費（航空保安関連施設、気象施設）、改良・再投資費
事業の対象施設	滑走路、航空保安関連施設、気象施設等

(億円)									
割 引 前									
年度	施設運営 期間	初期投資	更新投資 コスト	総費用 (C)	利用者 便益	供給者 便益	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B－C)
2024		3.60		3.60					-3.60
2025		72.52		72.52					-72.52
2026		98.55		98.55					-98.55
2027		43.50		43.50					-43.50
2028	1				17.06	8.33		25.39	25.39
2029	2				17.06	8.33		25.39	25.39
2030	3				11.89	7.35		19.24	19.24
2031	4				11.89	7.35		19.24	19.24
2032	5				11.89	7.35		19.24	19.24
2033	6				11.89	7.35		19.24	19.24
2034	7		1.32	1.32	11.89	7.35		19.24	17.92
2035	8				11.89	7.35		19.24	19.24
2036	9				11.89	7.35		19.24	19.24
2037	10				11.89	7.35		19.24	19.24
2038	11				11.89	7.35		19.24	19.24
2039	12				11.89	7.35		19.24	19.24
2040	13				11.89	7.35		19.24	19.24
2041	14		1.25	1.25	11.89	7.35		19.24	17.99
2042	15		44.75	44.75	11.89	7.35		19.24	-25.51
2043	16		13.50	13.50	11.89	7.35		19.24	5.74
2044	17				17.06	8.33		25.39	25.39
2045	18				17.06	8.33		25.39	25.39
2046	19				11.89	7.35		19.24	19.24
2047	20				11.89	7.35		19.24	19.24
2048	21		1.25	1.25	11.89	7.35		19.24	17.99
2049	22		0.07	0.07	11.89	7.35		19.24	19.17
2050	23				11.89	7.35		19.24	19.24
2051	24				11.89	7.35		19.24	19.24
2052	25		8.75	8.75	11.89	7.35		19.24	10.49
2053	26				11.89	7.35		19.24	19.24
2054	27				11.89	7.35		19.24	19.24
2055	28		1.25	1.25	11.89	7.35		19.24	17.99
2056	29				11.89	7.35		19.24	19.24
2057	30		44.75	44.75	11.89	7.35		19.24	-25.51
2058	31		13.50	13.50	11.89	7.35		19.24	5.74
2059	32				17.06	8.33		25.39	25.39
2060	33				17.06	8.33		25.39	25.39
2061	34				11.89	7.35		19.24	19.24
2062	35		1.25	1.25	11.89	7.35		19.24	17.99
2063	36				11.89	7.35		19.24	19.24
2064	37		0.07	0.07	11.89	7.35		19.24	19.17
2065	38				11.89	7.35		19.24	19.24
2066	39				11.89	7.35		19.24	19.24
2067	40				11.89	7.35		19.24	19.24
2068	41				11.89	7.35		19.24	19.24
2069	42		1.25	1.25	11.89	7.35		19.24	17.99
2070	43				11.89	7.35		19.24	19.24
2071	44				11.89	7.35		19.24	19.24
2072	45		44.75	44.75	11.89	7.35		19.24	-25.51
2073	46		13.50	13.50	11.89	7.35		19.24	5.74
2074	47				17.06	8.33		25.39	25.39
2075	48				17.06	8.33		25.39	25.39
2076	49		1.25	1.25	11.89	7.35		19.24	17.99
2077	50		8.75	8.75	11.89	7.35		19.24	10.49
合 計		218.17	201.21	419.38	635.83	375.45		1011.28	591.90

			CBR	1.7	NPV	171	億円	EIRR	7.4	%
(億円)										
割 引 後										
年度	施設運営 期間	社会的 割引率	初期投資	更新投資 コスト	総費用 (C)	利用者 便益	供給者 便益	残存価値	総便益 (B)	純便益 (B－C)
2024		1.00	3.60		3.60					-3.60
2025		0.96	69.73		69.73					-69.73
2026		0.92	91.11		91.11					-91.11
2027		0.89	38.67		38.67					-38.67
2028	1	0.85				14.58	7.12		21.70	21.70
2029	2	0.82				14.02	6.85		20.87	20.87
2030	3	0.79				9.40	5.81		15.21	15.21
2031	4	0.76				9.04	5.59		14.62	14.62
2032	5	0.73				8.69	5.37		14.06	14.06
2033	6	0.70				8.35	5.17		13.52	13.52
2034	7	0.68		0.89	0.89	8.03	4.97		13.00	12.11
2035	8	0.65				7.72	4.78		12.50	12.50
2036	9	0.62				7.43	4.59		12.02	12.02
2037	10	0.60				7.14	4.42		11.56	11.56
2038	11	0.58				6.87	4.25		11.11	11.11
2039	12	0.56				6.60	4.08		10.68	10.68
2040	13	0.53				6.35	3.93		10.27	10.27
2041	14	0.51		0.64	0.64	6.10	3.77		9.88	9.24
2042	15	0.49		22.09	22.09	5.87	3.63		9.50	-12.59
2043	16	0.47		6.41	6.41	5.64	3.49		9.13	2.73
2044	17	0.46				7.78	3.80		11.59	11.59
2045	18	0.44				7.48	3.66		11.14	11.14
2046	19	0.42				5.02	3.10		8.12	8.12
2047	20	0.41				4.82	2.98		7.81	7.81
2048	21	0.39		0.49	0.49	4.64	2.87		7.51	7.02
2049	22	0.38		0.03	0.03	4.46	2.76		7.22	7.19
2050	23	0.36				4.29	2.65		6.94	6.94
2051	24	0.35				4.12	2.55		6.67	6.67
2052	25	0.33		2.92	2.92	3.97	2.45		6.42	3.50
2053	26	0.32				3.81	2.36		6.17	6.17
2054	27	0.31				3.67	2.27		5.93	5.93
2055	28	0.30		0.37	0.37	3.52	2.18		5.70	5.33
2056	29	0.29				3.39	2.10		5.49	5.49
2057	30	0.27		12.27	12.27	3.26	2.02		5.27	-6.99
2058	31	0.26		3.56	3.56	3.13	1.94		5.07	1.51
2059	32	0.25				4.32	2.11		6.43	6.43
2060	33	0.24				4.16	2.03		6.19	6.19
2061	34	0.23				2.79	1.72		4.51	4.51
2062	35	0.23		0.28	0.28	2.68	1.66		4.33	4.05
2063	36	0.22				2.58	1.59		4.17	4.17
2064	37	0.21		0.01	0.01	2.48	1.53		4.01	3.99
2065	38	0.20				2.38	1.47		3.85	3.85
2066	39	0.19				2.29	1.42		3.71	3.71
2067	40	0.19				2.20	1.36		3.56	3.56
2068	41	0.18				2.12	1.31		3.43	3.43
2069	42	0.17		0.21	0.21	2.04	1.26		3.29	3.08
2070	43	0.16				1.96	1.21		3.17	3.17
2071	44	0.16				1.88	1.16		3.05	3.05
2072	45	0.15		6.81	6.81	1.81	1.12		2.93	-3.88
2073	46	0.15		1.98	1.98	1.74	1.08		2.82	0.84
2074	47	0.14				2.40	1.17		3.57	3.57
2075	48	0.14				2.31	1.13		3.44	3.44
2076	49	0.13		0.16	0.16	1.55	0.96		2.50	2.34
2077	50	0.13		1.09	1.09	1.49	0.92	46.49	48.90	47.80
合 計			203.12	60.21	263.33	244.35	143.69	46.49	434.53	171.20